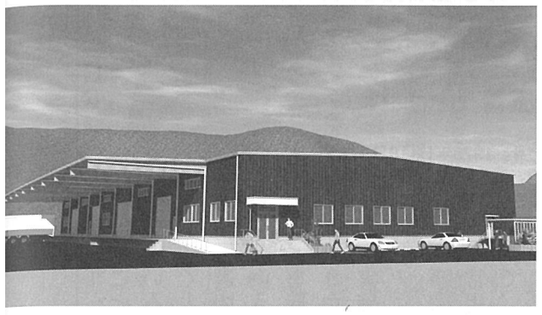
# 古賀市で保管・運送・荷役業務の一貫物流サービス

## 理化学機器・半導体関連需要取り込む

### ヒサノ 久保誠社長に聞く



◀ヒサノが古賀市に建設する倉庫の完成予想図

運送業の㈱ヒサノ（熊本市南区南高江2丁目、久保誠社長）は福岡営業所・倉庫を現在の大野城市から古賀市青柳町に移転、来年5月に運送業を、同7月には新たに倉庫業も開始する。同社は、様々な産業機械の設置技術を生かし、理化学機器や半導体製造装置などの精密機器の輸送から搬入・設置までのワンストップサービスを提供してきたが、福岡では十分な保管機能や荷捌きスペースを有しておらず、受注の取りこぼしに繋がっていた。移転を機に一貫物流サービス業に着手、DXにも注力する久保社長に狙い（徳永親）

―新倉庫の概要は。

**久保** ヒサノの持ち株会社が総事業費10億円をかけ、同市の工業団地「ラ・アトレ古賀インダストリー」で10月に着工する倉庫・事務所に入居します。敷地面積は2万2398㎡で、新倉庫・事務所は鉄骨平屋建て、床面積は2582㎡、うち198㎡が事務所。新倉庫の床には、商品に衝撃や傷を与えないための養生用鉄板を敷設します。新倉庫建設時の社員は17人を予定しており、うち5人を新規に採用します。

―移転と倉庫業への進出を決めた背景は何ですか。

**久保** まず、現倉庫は、横手を御笠川が流れており、水害などの災害リスクが高く、BCPの観点からも早期の移転が課題でした。新倉庫建設予定地は、高台に立地しているため水害リスクが大幅に軽減されます。

加えて、九州内の理化学機器・半導体関連企業の保管・運送・荷役業務のニーズは年々高まっていて、既存顧客に留まらず、新規顧客への営業を強化したい思いもあります。また、運送業では、年々採用環境が厳しくなっており、特に福岡県中心部では従業員を新たに雇用することが難しくなっている現状もあります。

―今回の計画では、新規に倉庫業の許認可を取得して営業倉庫の運営を開始しますが、移転と倉庫業への進出で得られる効果は。

**久保** 従来の輸送・搬入・設置までのワンストップサービス事業に加え、組立などの荷役や保管業務を含めた一貫物流サービスの提供までを担えるようになります。新倉庫建設によって保管・荷捌きスペースが拡大しますので、まず第一には、弊社が得意とする精密機器輸送の取り扱い荷物を増量させ、運送料収入の増加を目指します。また、営業用倉庫のスペースが慢性的に不足している福岡県内の都市圏で新たに倉庫業に進出することにより、精密機器の保管から輸送・設置までの一貫物流サービスの提供が可能となるとともに、新たに営業用倉庫の保管・荷役料収入も確保できるため、将来的には熊本本社に匹敵する規模の売上高も期待できると思っています。

## 共同配送拠点化し労働力不足解消へ

―昨年来、新型コロナウイルス感染症対策機器移送の需要も増えているようですが。

**久保** 新規に建築する倉庫は、商品に衝撃や傷を与えないための養生用鉄板を敷設します。それにより、本体にキャスターがついていて、精密で壊れやすく取り扱いが難しい理化学機器などを安全かつ効率的に荷役することが可能になります。

新倉庫は、PCR検査に使用する理化学機器やファイザー社製を始めとする新型コロナウイルスワクチン用超低温冷凍庫などの新型コロナウイルス感染症対策機器だけでなく、半導体製造装置などの一貫物流サービスの提供体制の一翼を担えるようになることで、我が国の社会的課題に直接かかわる各種精密機械のサプライチェーンの強靱化に貢献できることにもなります。

―現在、半導体受託製造世界最大手の台湾TSMCがソニーや三菱電機向けの半導体受託製造工場を熊本に新設する可能性や、ソニーグループの半導体生産子会社であるソニーセミコンダクタマニュファクチャリングが新工場建設に備えて土地を取得するなどの報道がなされていますが、対応する課題は。

**久保** そうですね。こうした大規模な設備投資は、ヒサノが大きく企業成長できる好機だと思っています。しかしながら、物流業界はドライバーや作業スタッフの人手不足という深刻な課題を抱えています。当社が運んでいる精密機器は数百kgから中には数トンもある精密機器もあり非常に重たく、輸送にも人手が必要です。近年では、物流の効率化、環境対策を目的に、例えば、様々なコピー機メーカーの商品を混載して複数の場所に輸送・設置している事例がありますが、今後百～2百kg程度の重さの精密機器輸送の分野では、同じ事業領域で競合している複数のメーカーの商品を同じトラックで運ぶ「共同配送」の流れが進んでいくのではないかと考えています。

九州圏内では精密機器の「共同配送」はほとんど進展しておらず、当社の新倉庫が各種精密機器の共同配送の拠点としての役割を担えるよう提案営業も行いたいと思っています。

―BCP対策も強化されますね。

**久保** 当社は各種精密機器や金融機関のATMなど被災地の生活再建に必要な様々な産業用機器を輸送する会社でもあります。2016年4月の熊本地震時の半導体・液晶製造工場の災害復旧、20年7月の熊本豪雨時の金融機関や医療機関などの災害復旧など、災害発生時にいち早く被災地に出向き被災設備の撤去など災害復旧業務に携わりました。災害時には早期に業務を再開する必要があり、当社にとって災害対策拠点の構築は喫緊の課題でした。今回新設する倉庫は高台に立地、非常用自家発電設備や、地下水を活用するための受水槽付自動給水装置ポンプユニットなども導入します。一方、求人活動は建設予定地の福岡県古賀市と連携しながら積極的に行う方針です。

―DXにも熱心ですね。

**久保** はい。クラウド上で受注・配車業務を最適化・見える化する「横便箋システム」や、給与計算システムを自社開発しています。

―社長ご自身は、外務省勤務の経験があり、外国人労働者への支援活動にも積極的ですね。

**久保** 熊本経済同友会の人材育成委員会の副委員長として技能実習生など外国人労働者のおかれている状況改善のための課題解決を行っています。

―売上高などは。

**久保** 20年9月期売上高は7億7838万円、経常利益は2983万円、社員数は88人です。

くぼ・まこと／鹿児島市出身、1965年10月16日生まれ、55歳。鹿児島県立甲南高校ー熊本大学文学部ー同大学大学院文学研究科修了。91年熊本県庁入庁。土木部河川課、外務省欧亜局大洋州課、在シカゴ日本国総領事館などを経て退職。2004年㈱ヒサノに入社。08年社長就任。趣味ー海外旅行